

事業名 **新潟県立歴史博物館 出前講座**

趣 旨 当館研究員の「調査・研究」活動の成果を広く県民に普及する場として、また、県民の多様なニーズに即した生涯学習の場とし、県内各地に講座を開設する。講座の内容については、新潟県内に残る歴史事象等に基づき本館研究員を派遣する。また、一般的歴史的内容についての要望があればそれに応える。

実施主体 新潟県立歴史博物館

参加対象 一般

参加者数 延べ 122 名 (第5回 12月9日分 終了現在)

回数 11回 日数 11日 時間 16時間 (90分×11回)

場所 県内9会場 (下記)

内容 方法として、各回とも配付資料・視聴覚機材を用い実施、講義後、質疑応答を行った。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月2日 (日) 13:30~15:00	佐渡金銀山絵巻の世界 会場：糸魚川市民会館	当館主任研究員 渡部 浩二
	内容・方法	佐渡金銀山絵巻の描かれた時代背景、その歴史的価値等について解説した。(糸魚川歴史民俗資料館における移動展覧会「佐渡金銀山絵巻展」との連携開催)	
2	8月24日 (金) 13:00~15:00	体験教室 石碑の拓本に挑戦 会場：柏崎市二田物部神社	当館主任研究員 山本 哲也
	内容・方法	西山町二田物部神社の天明義民之碑の拓本を採った。当碑は新潟県中越沖地震により台座からはずれ、地上に落下した状態になっていた。実際に文化財調査の方法として行っている拓本を実際に体験することによって、地元の文化財に触れる機会を設けた。	
3	9月29日 (土) 13:30~15:00	田上町と縄文文化 会場：田上町民俗資料館	当館主任研究員 宮尾 亨
	内容・方法	田上町と県内、全国の遺跡等との関わりについて、全県的・全国的・世界的な視点から、解説した。(地元講座「田上ふるさと歴史講座」における位置づけとして実施)	
4	11月22日 (木) 10:00~11:30	縄文晩期の世界を覗く 青田遺跡 会場：加治川地区公民館	当館主任研究員 荒川 隆史
	内容・方法	青田遺跡の分析を通して、縄文晩期の当時の生活・道具等、生活の様子について取り上げた。(地元講座「ふるさと歴史講座」における位置づけとして実施)	
5	12月9日 (日) 13:30~15:00	年中行事 一見方・考え方・調べ方— 会場：川口町生涯学習センター	当館交流普及課長 野堀 正雄
	内容・方法	日本人の生活のリズムともいえるべき年中行事(歳時習俗)の構造を民俗学の立場から明らかにした。さらに、調査の方法や、固別事象の年中行事が持つ意義を併せて考えた。(地元講座「ふるさと川口塾」における位置づけとして実施)	
6	2月20日 (水) 13:30~15:00	縄文土器鑑賞法入門 会場：田上町民俗資料館	当館専門研究員 西田 泰民
	内容・方法	多くの博物館・郷土資料館に土器が展示されているが、どこに目をつけたらよいのか、研究者が土器に熱中するのはなぜかを解説する。(地元講座「田上ふるさと歴史講座」の9月実施講座に続くものとして位置づけ)	
7	2月27日 (水) 13:30~15:00	古文書に親しもう 会場：新発田市生涯学習センター	当館主任研究員 田邊 幹
	内容・方法	新発田市中央公民館で行われている古文書解読の会に関して、本館研究員が教材を提示し、古文書について読み解く。	

8	3月2日（日） 13:30～15:00	私は銭が好き ー日本の古代・中世のおかねー 会場：県立生涯学習推進センター	当館学芸課長 戸根与八郎
	内容・方法	約1200年前（古代）の日本で最初に鋳られた富本銭や約600年前（中世）の大量備蓄（大量埋納銭）などについて歴史・文化・民俗など多方面から考える。	
9	3月8日（土） 13:30～15:00	直江兼続とその時代 会場：十日町情報館	当館主任研究員 前嶋 敏
	内容・方法	直江兼続を主題にした「天地人」が、平成21年・NHK大河ドラマの放映に決定した。戦乱の世を生き抜いた中越、上越地方ゆかりの直江兼続の志や生き方の理解を通して、「天地人」の舞台となった時代背景や状況について解説する。	
10	3月16日（日） 13:30～15:00	民俗資料とは何か？ 会場：県立生涯学習推進センター	当館主任研究員 陳 玲
	内容・方法	民俗資料は地域文化のあり方を具体的に知っていく文化資源であり、そこには文字による観念的な教育手法と補完する具体的、個別的な教育手法の可能性がある。古く眠っている昔の生活道具を収集して、たからものにしていく博物館の学芸員の日常的な仕事を事例にしなごらわかりやすく解説する。	
11	3月22日（土） 13:00～14:30	正倉院に残った佐渡国の痕跡を探る 会場：アミューズメント佐渡	当館主任研究員 浅井 勝利
	内容・方法	正倉院に残されたいわゆる正倉院文書には佐渡国からはるばる都まで運ばれた文書（佐渡国正税帳）が含まれている。この文書をキーに奈良平安時代における佐渡国の様子について探る。	

- 成 果**
- 平成17年より開始された本事業は当初は、該当市町村へ本館より講座内容を提案し、受け入れ可能の返答を受け、実施した。3年目の19年度は11講座中6講座について、各市町村教委等の希望や要請に基づき、立案・実施した。それにより、各市町村のニーズに応じた講座内容を設定することが可能となった。
 - 特に田上町、川口町、新発田市においては、在来の地元研究団体の要請に基づきことができ、参加受講者により高い満足度を得ていただくことができた。田上町では9月の講座が好評を博し、2回目を翌年2月に別内容、別講師で実施することができた。

- 課 題**
- 本事業の各市町村への周知がより浸透し、ニーズを把握した上での実現を図ることが求められる。田上町にみられるように、同一市町村において、継続的な研究・社会教育的機会を活用することにより、より深まりのある学習を達成することができるであろう。
 - 以上の点を解決するため、地区の社会教育主事等の連絡会などでの広報・各市町村教育委員会への広報の強化を図る。

問合せ先 新潟県立歴史博物館 交流普及課（担当 星 徹、野堀 正雄）
TEL : 0258-47-6135